

## 平成 30 年度事業報告書

### 1. 法人の概要

名 称 学校法人 門真めぐみ学園（昭和 46 年 4 月 1 日法人設立）

代表者 理事長 岡崎 宣真

住 所 門真市四宮 3 丁目 10-24

電 話 072-882-0071

F A X 072-882-0085

設置する学校

住所 門真市四宮 3 丁目 10-24

名称 門真めぐみ幼稚園

役員・教職員の概要

理 事 7 名

監 事 2 名

評議員 18 名

教職員 30 名

入学定員及び園児数の状況

	入学定員 (人)	実園児数 (人)	クラス数
満 3 歳児	25	4	1
3 歳児	105	87	5
4 歳児	210	107	4
5 歳児	210	127	4
合計	550	321	14

平成 29

年 5 月 1 日

### 2. 門真めぐみ幼稚園の概要

《教育方針》

「あたたかい心の教育」

《保育料及び諸経費》

保育料：全園児 25,000 円（月額）

園バス維持費：2000 円（月額）

保護者会費：600円（月額）

協力費：500円（月額）（検診費・保険料・諸行事費）

入園料：35,000円

冷暖房費：2000円（年額）

施設設備費：15,000円

施設設備費に限り、兄弟及び姉妹が在園もしくは同時入園に限り弟妹分を免除する。

#### 《預かり保育の時間及び費用》

月～金曜日：7時30分より保育終了後～18時30分

月極：7000円 臨時：500円

長期休業中の預かり保育あり（夏・冬・春）日額1000円

#### 《行事の現地状況》

4月 入園式・始業式・身体測定(毎月)・誕生会(毎月)

5月 園外保育・こどもの日の集い・保護者参観・花まつり

6月 健康診断・園庭開放・1日入園・保護者参観

7月 学期末懇談会・七夕の集い・七夕まつり音楽会・盆踊り・終業式・年長児お泊まり保育

8月 夏休み・夏期保育(4日間)

9月 始業式・避難訓練・敬老参観・園庭開放・1日入園・お月見の集い

10月 運動会・翌年度入園児面接・園庭開放・避難訓練

11月 1日動物園・門真市スポーツレクレーション大会参加

12月 生活発表会・餅つき・年末感謝祭・終業式・冬休み

1月 始業式・製作展

2月 節分豆まき・小学校見学・避難訓練

3月 ひなまつり音楽会・ひなまつりの集い・卒園遠足・お別れ会・卒園式・終了式

#### 《施設関係》

園地総面積 2,862㎡ 運動場面積 1,322㎡

明るく広々とした緑豊かな園庭 水車の情緒豊かな憩いの場所

#### 《主な事業の目的・計画》

- ① 施設設備について老朽化した遊具や保育室の備品（机・椅子・ロッカー等）を順次見直す。

- ② 保育内容の向上を目指す。前々年度に引き続き「絵本に親しむ」をさらに「童謡童話を親しむ」に発展させ、絵本・童謡・童話を通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識する。
- ③ 「子育て支援」の層が2歳児より1歳児のほうが、需要が高く低年齢になりつつあることを踏まえ、内容を再考すると同時に保育の備品についても検討する。
- ④ 預かり保育の人数が増加、働く保護者だけでなく子育てのリフレッシュを望む保護者が増え、長期休業（春・夏・冬休み）中の預かり保育人数も増加。その為、人員確保が難しく500円より1000円に価格改定を行った。

#### 《事業報告》

- ① 「こども園」への移行を見据え門真市の「幼稚園預かり事業」を受け入れ、職員の1・2歳児への保育・教育内容の充実を図ることができた。
- ② 施設設備について  
2度の台風のため、屋上の空調室外機（5台）の破損、壁面の剥離など多くの損害を受け、その修復に迫られた。
- ③ 保育内容について「みんなに童謡童話を」というテーマのもと童謡童話の部屋を設け、「語って聞かせる」ことが出来る環境を整えた。また、毎月の歌、音楽会には童謡を選曲し、声楽指導を子供たちに行い、「音を聴く」こと、音楽の楽しさ、歌う楽しさを子供たちや職員が学ぶことが出来、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を通して子どもたちの得意分野を1つでも伸ばし、1つでも自信に繋げる働きかけを職員に周知できた。
- ⑤ 「子育て支援」として、未就園児保育「めぐみ広場」を月1回開催。または園庭開放の回数を増やし、子育て相談も増え、また交通安全教室を開催、門真警察・大阪府道路交通課と連携し地域の方々、保護者等と共に子どもやお年寄りの特性を学び、さらに自転車の法令が変わったこともDVDで知る機会となった。
- ⑥ 後援会の中に「おやじの会」が発足し3年目を迎え、園の行事等、スムーズに行えるようになり、OBの方々の繋がりも出来ている。